

2023年度 埼玉県立大学 地域包括ケア推進セミナー

# 地域のCPサッカークラブ (脳性まひ7人制サッカー)の 活動について



ASユナイテッド 代表

なかむら たかひろ  
中村 臣宏

# 自己紹介

- ・1981年生まれ 東京都出身
- ・実父の仕事の都合で幼少を宮城県、小学校6年から高校卒業までを大阪府で過ごし、18歳で埼玉へ。(大阪在住時の小6よりサッカーを始める。ゴールキーパーとしてプレー)
- ・2000年、浦和短期大学入学時より、障がい者スポーツの勉強を始める。
- ・浦和大学近所の施設で非常勤職員をしながら、通信制過程の大学を2005年に卒業。社会福祉士受験資格を取得。
- ・仕事をしながら受験勉強をし、2008年に社会福祉士を取得。
- ・現在、埼玉県川口市の知的障がい者施設で勤務。

# 2002年8月より脳性まひ7人制サッカー (CPサッカー) 「ASユナイテッド」にスタッフとして加入



きっかけは・・・。

イオンのスポーツ用品店に  
貼ってあった募集ポスター！！

# CP(脳性麻痺～CEREBRAL PALSY～)とは??

- ・妊娠中からお産(出産・出生)の前後になんらかの出来事があり、その結果脳障害が起こるもののうち、運動機能が不自由になる後遺症。
- ・手足がこわばって硬くなる「痙直型」、手足が過剰に動きすぎる「アテトーゼ型」、バランスがとりにくくなる「失調型」など。運動障害の出方は、損傷を受けている脳の部位の違いを反映される。
- ・障害を受ける部位によっては精神発達遅滞(成長期に、知的機能が平均より低く年齢相応の行動がとれないこと)失語症状などを呈することもある。



- ・GKコーチ、コーチ、監督を経験。  
2018年5月より、チームの代表に就任。

- ・短大卒業時に(公財)日本障がい者スポーツ協会初級指導員を取得。

- ・指導者としての経験を積むために、  
2004年に(公財)日本サッカー協会  
指導者資格を取得(C級、GK LIコーチ)

- ・障がい者スポーツ指導員資格は、  
2010年に中級、2018年に上級指導  
員を取得。

# 代表になってからの活動。



- ・資金面に課題があり、協賛企業を探し始める。(現在協賛2社、サプライヤー1社)
- ・SNSを用いてのチームのPRを開始。(Instagram登録者数、約1200人)
- ・選手、保護者からも、裏方スタッフを選出。(チームの課題を我が事に思うため)
- ・定款の大幅改正。

# コロナ禍のチーム。

- ・代表になってすぐ、新型コロナウイルスの大流行により、練習の自粛だけでなく、公式戦の中止などが続いた。
- ・進学、就職が近づく選手、その間に年齢に限界を感じた選手が多くいて、世情と将来を考え、退団する選手が続出した。
- ・現在、コロナが5類扱いになったとのことでも、外出に制限がある選手もいて、一昨年から再開した全日本選手権も、欠場が続いている。

## ☆この状況を打破するために☆

- ・健常者の助っ人をメンバーに加えた形で、各所の民間フットサルコートで行われている、健常者のフットサル大会に、挑戦した。





・2023年の4月と7月に、  
挑戦し、まだ未勝利。  
しかし、選手からの得点もあり、  
課題の中に、手ごたえも得られ  
た経験となった。

☆年度内に、かなりスペシャルなコラボが実現しそ  
う。。  
きっとCPサッカー界にも、フットサル界にも、響くも  
のになると思うので、見ててください！！



## 保護者の皆さんとのコミュニケーションの重要性

チームを作るのは、スポーツに関わるコーチのみのチカラではできない。  
障がいがある子供を育てた経験がある保護者の意見も不可欠。

しっかりとした「対話」が、あらぬトラブルを未然に防ぐ事に繋がる。ホンネの対話  
にこそ、強固な信頼が生まれてくると信じている。

それらの感覚を養うためには、、、



サッカーに留まらず、いろんな人に自分から会いに行き、いろんな刺激をもらい、選手や他のスタッフにお返りする。  
凝り固まらない姿勢が、グラウンドでも生きてくると信じている。

# ・現時点での課題・

## ・選手の増員

(SNSやチラシ、ポスターを駆使した広報戦略)

## ・若手の発掘

(障がいがあるお子様の団体と繋がる)

## ・スタッフの増員・育成

(実は今、監督・コーチがいない)

## ・他分野との交流の継続

(一度きりにならないように、時にはこちらから応援しに行く)

## ・練習場所の開拓

(ジュニアチームができれば、今のままでは厳しい)

## ・イベントの復活

(練習、試合が普通にできるようになったら、再開したい)





ご清聴ありがとうございました！！  
次は「グラウンド」で会いましょう